

防除情報

長崎県病害虫防除所長

令和5年度病害虫発生予察防除情報第8号

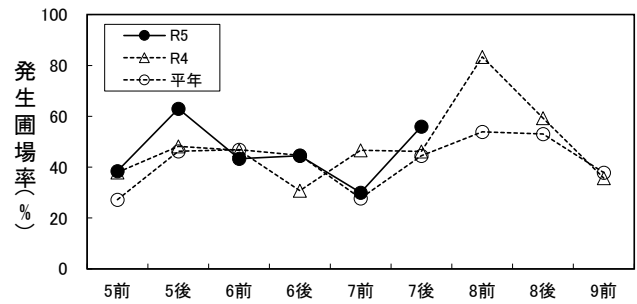
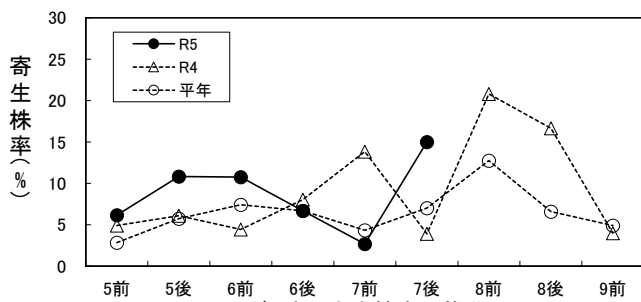
いちご（育苗床） ハダニ類の防除対策について

7月後期に行った巡回調査の結果、ハダニ類の発生が多くなっています。本圃へのハダニ類の持ち込みを防ぐため、今後の圃場での発生に十分注意し、定植前までの防除対策の徹底をお願いします。

記

1. 発生状況等

- (1) 7月後期の巡回調査（25筆）の結果、寄生株率は15.0%（平年 7.0%）、発生圃場率は56.0%（平年 44.4%）と平年より多く、7月上旬の調査から急激に増加している（図1、2）。



2. 防除対策について

- 本圃でハダニ類が多発すると防除が困難になるため、苗による本圃への持ち込みがないよう定植前までの防除を徹底する。株冷処理を行う場合は、入庫前後の薬剤防除を徹底する。
- ハダニ類は下葉の裏に多く寄生するので、薬液が葉裏に十分かかるよう丁寧に散布する。
- 古葉の摘葉後に薬剤散布すると効果的であるが、摘葉した葉を圃場内に放置すると周辺株へハダニが移動するため、速やかに圃場外に持ち出し処分する。
- 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統の薬剤（令和5年長崎県病害虫防除基準 P 2 1 4～2 1 7の「作用機構による分類（IRAC）」参照）の連用を避け、薬剤感受性低下の恐れが少ない気門封鎖剤や異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。
- 本圃で天敵による防除を予定している場合は、天敵に長期間影響を与える薬剤があるので、薬剤の選択と使用時期に留意する。

○6月から8月までの3か月間を「農薬危害防止運動期間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

(長崎県病害虫防除所) ホームページ」アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

(長崎県病害虫防除所) TEL：0957-26-0027

